

Magazine for Takashimaya's Special Card Members

Takashimaya Salon

長く一緒に暮らしたい道具。

September 2020
Vol. 161

9





名もない職人の無言のメッセージを 映像で語り継いでいきたい。

民藝に関する貴重な映像資料を発掘し、修復編集活動を行っている
カナダ人の映像作家、マーティ・グロスさんにお話を伺った。



マーティ・グロス

映像作家。1970年に愛知県の常滑で陶芸修行を経験。'72年、トロントに子どものためのアートスクール Marty Gross Studio 設立。'75年、Marty Gross Film Productions inc. 設立。2015年「民藝運動フィルムアーカイブ」プロジェクトを開始。
<http://mingeifilm.com>
martygrossfilms.com

photo:Marty Gross Film Productions inc. text:Yoshiko Nagashima

日 本の民藝とそれに携わる人々に関心をもち、1976年に『Potters at Work』という

映画を制作していたマーティ・グロスさん。その準備の過程で、世界的な陶芸家であり日本の民藝運動にも関わったバーナード・リーチと出会い、リーチが1930年代に日本を訪れた際に撮影していた16ミリフィルムを託された。「リーチが親交のあった濱田庄司の益子での作業や暮らしぶりをはじめ、陶芸だけでなく当時の日本の文化が分かる貴重なフィルムでした。リーチはこの映像を世界中で行っていた講演などで使っていたようですが、保存状態が悪く、預かった当時は私もどうしていい

か分かりませんでした」

リーチからフィルムを託されて以降、映像表現の手法はフィルムからビデオ、そしてデジタルへとテクノロジーが変化していった。

「デジタルの時代になって、フィルムの修復や再編集が比較的容易にできるようになり、世の中に貴重な民藝の歴史を伝えることができるのではと考えたのです」

古いフィルムをクリーニングし、デジタルスキャンして映像を鮮明にする作業を始めた。さらに、無声だったフィルムの内容について解説の音声をつけるために、当時を知る人々を探し訪れ、インタビューをしていった。

これらの一連の作業を正式に行



1.一子相伝の陶芸の里、大分県日田市小鹿田焼の映像の1コマ。当時の職人たちの手仕事の詳細や人々の暮らしが映されている。『民窯 小鹿田焼』(1957年)。2.グロスさんは、元は無声だった『民窯 小鹿田焼』のフィルムをデジタル修復し、当時を知る人々にインタビューして解説音声をつけていく。



うために、グロスさんは2015年に『民藝運動フィルムアーカイブ』プロジェクトを発足。すると

官公庁や美術館、個人などから昔の貴重なフィルムが手元に集まってきた。グロスさんのコレクション映画の中には、濱田庄司と共に日本の民藝運動を牽引してきた柳宗悦や河井寛次郎の当時の姿もある。これらのフィルムを修復、デジタル化し、

世界中で日本の陶芸展や民藝展などが行われる際に、資料映像として上映されている。グロスさんは職人たちの手仕事

映像伝承は「百聞は一見にしかず」

を受け、美を見出したか、彼らが目にしてきたものを映像なら我々も見て知ることができるのだ。

「まだ、すべての映像に音声をつけられていません。映像に残された時代を知っている人が直接語

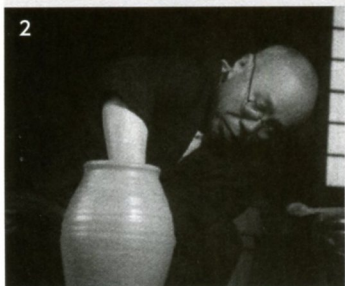
の素晴らしさ、面白さを、視覚で伝えていきたいと語る。

「昔の映像を見ると、日本の職人の手仕事は機械より速くて正確。それでいて、手仕事ならではのフレキシビリティと温かさがあります。有名な作家の芸術品は、作った背景や意味が言葉で残っていますが、無名の職人たちが作った日用品には説明がありません。だから、それを映像で直接見て感じてほしいのです。時代の変化と共に使われなくなった日用品もあるため、今は消えてしまった技術の細部も映像には残されています」

柳やリーチは民藝の美を文章で表現した。彼らが民藝の何に影響

るオーラルヒストリーは非常に貴重。彼らが高齢のため、それを集めることに現在集中しています」

8月から開催する高島屋民藝展で、ぜひ、グロスさんの映像を見てほしい。



1.日本の民藝を愛し、各地を巡って貴重な映像を残した陶芸家バーナード・リーチ。グロスさんが撮影したものだ。(1975年)。2.リーチとも親交が深かった人間国宝・濱田庄司。『濱田庄司 益子にて』(1950年)。3.小鹿田を訪れた際のリーチと柳宗悦。大分県広報課が撮影した当時の映像の一部。『小鹿田焼 バーナード・リーチ、柳宗悦とともに』(1954年)。4.リーチが映像に残した益子での濱田の家族たちとリーチ。『日本旅行・朝鮮半島旅行』(1934年)。5.益子の登り窯の窯入れの様子。『益子焼』(1937年)。

Information -

いまの暮らしに、健やかな美を。

[展示・即売] 民藝展

協力:日本民藝協会

- 8月26日(水)→9月6日(日) 日本橋本店本館8階 催会場
- 9月9日(水)→14日(月) 大阪店7階 催会場

本年は民藝運動を提唱した柳宗悦が誕生してから約130年。それを記念し、柳が全国各地からみいだし、いまに続く民藝の品々が大集合します。また若い世代の作り手や配り手も紹介。会場では約85年前にバーナード・リーチが来日した際に撮影したフィルムなどを、カナダ人映像作家マーティ・グロス氏がデジタル処理で甦らせた貴重な映像作品の上映も予定しています。

※店舗により取り扱い商品が異なる場合がございます。※事前のご予約は承れません。※品数に限りがございますので、売切の節はご容赦ください。※手作り品のため、1点ずつデザイン・サイズが異なる場合がございます。

詳しくは特設サイトをご覧ください。 **高島屋 民藝展**

検索



特別企画 **高島屋オンラインストア 民藝展**
8月26日(水) 午前10時スタート

高島屋オンラインストアでも民藝展を開催いたします。
※お取り扱い商品は本誌掲載品やそれぞれの会場の商品と異なります。詳しくは8月26日(水)午前10時公開のオンラインストアページをご覧ください。